

本資料のうち、枠囲みの内容は、
営業秘密又は防護上の観点から
公開できません。

資料番号	TK-1-1429 改0
提出年月日	平成30年7月6日

工事計画に係る補足説明資料

補足-500-1【計算機プログラム（解析コード）の概要に係る
補足説明資料】

[V-5-32 計算機プログラム（解析コード）LS-DYNA]

1. 概要

本資料は、今回申請における添付書類「計算機プログラム（解析コード）の概要」において説明している解析コードについて、補足して説明するものである。

2. 工事計画添付書類に係る補足説明資料

添付書類の記載内容を補足するための資料を以下に示す。

資料 No.	資料名	補足説明内容	備考
1	解析コードリスト（耐震・強度以外）	添付書類V-2「耐震性に関する説明書」、添付書類V-3「強度に関する説明書」以外の添付書類において使用した解析コードの補足説明	
2	解析コードリスト（耐震）	添付書類V-2「耐震性に関する説明書」において使用した解析コードの補足説明	
3	解析コードリスト（強度）	添付書類V-3「強度に関する説明書」において使用した解析コードの補足説明	
4	工事の計画*において使用された解析コードとのバージョンの差分について	今回申請において使用した解析コードのうち工事の計画*において使用された解析コードとバージョンが異なる解析コードの補足説明	
5	工事の計画*において使用実績のない解析コードリスト	今回申請において使用した解析コードのうち工事の計画*において使用実績のない解析コードの補足説明	
6	補足説明資料において使用している解析コードリスト	補足説明資料において使用した解析コードの補足説明	

*：他プラントを含む。また、自プラントについては工事計画認可及び工事計画届出とする。

3. 解析コードリスト (強度) (1/1)

No.	解析コード	製造元	使用したバージョン	最新バージョン	対象設備	使用目的	使用実績 (先行プラント含む)				関連添付書類		備考	
							実績	プラント名	対象工認件名	添付書類	バージョン	対象設備		使用目的
53	LS-DYNA	Livemore Software Technology Corporation	R9.2.0	R10.0(注1)	非常用ディーゼル発電機室ルーフトップファン電巻防護対策施設 中央制御室換気系冷東機防護対策施設 海水ポンプエリア電巻防護対策施設 中央制御室換気系開口部電巻防護対策施設 原子炉建屋外側ブローアワハネ電巻防護対策施設 原子炉建屋付廊棟開口閉鎖部電巻防護対策施設 原子炉建屋付廊棟軽量外壁部電巻防護対策施設	3 次元有限要素法による衝突飛来物影響評価	○				○	V-3-別添1-2-1-2	防護鋼板の強度計算書	
54	LS-DYNA	Livemore Software Technology Corporation	R9.2.0	R10.0(注1)	非常用ディーゼル発電機室ルーフトップファン電巻防護対策施設 中央制御室換気系冷東機防護対策施設 海水ポンプエリア電巻防護対策施設 中央制御室換気系開口部電巻防護対策施設 原子炉建屋外側ブローアワハネ電巻防護対策施設 原子炉建屋付廊棟開口閉鎖部電巻防護対策施設 原子炉建屋付廊棟軽量外壁部電巻防護対策施設	3 次元有限要素法による衝突飛来物影響評価	○				○	V-3-別添1-2-1-3	架構の強度計算書	
55	LS-DYNA	Livemore Software Technology Corporation	971	R10.0(注1)	原子炉建屋屋頂スラブ電巻防護対策施設	3 次元有限要素法による衝突飛来物影響評価	○				○	V-3-別添1-1-1	電巻上の防護すべき施設を内包する施設の強度計算書	

注1：最新バージョンへの改訂において、計算結果に大きな影響を与える不具合に伴う改訂が行われていないことを確認した。

4. 工事の計画において使用された解析コードとのバージョンの差分について (1/1)

No.	関連目録番号	解析コード名	製造元	使用したバージョン	対象設備	使用目的	使用実績(先行プリント含む)	バージョン差分内容
強-53	V-3-別添1-2-1-2	LS-DYNA	Livemore Software Technology Corporation	R9.2.0	非常用ディーゼル発電機室ルーフラフトファン電巻防護対策施設 中央制御室換気系冷動機防護対策施設 海水ポンプエリア電巻防護対策施設 中央制御室換気系開口部電巻防護対策施設 原子炉建屋外側ブローアウパバナ電巻防護対策施設 原子炉建屋付属機械開口閉鎖部電巻防護対策施設 原子炉建屋付属棟屋外壁部電巻防護対策施設	3次元有限要素法による衝突解析(電巻飛来物影響評価)	○	・本工事計画において使用するバージョンVer.R9.2.0は、他プリントの既工事計画において使用されているものとなるが、バージョンの変更において解析機能に影響のある変更が行われていない。
強-54	V-3-別添1-2-1-3						○	